

第一次世界大戦

人文研アカデミー 2014

4/26(土)

14:00~18:00

早瀬晋三(早稲田大学)
藤原辰史(京大人文研)
根本 敬(上智大学)

ヨーロッパ列強は壊滅的な戦争をはじめたとき、東南アジアは、具体的にそれにどうかかわり姿を迫られたのか。大戦前後の周辺諸国・地域、世界とのかかわりに注目しながら、国民国家形成への道程を描き、今日さらに未来を展望する。

東南アジアからみた
大戦の世界性

5/10(土)

14:00~18:00

大津留厚(神戸大学)
奈良岡聰智(京都大学)
梶原克彦(愛媛大学)

膠着した戦いは、多くの捕虜を生み出し、戦争を続けるには、彼らの労働力もカウントされねばならなかった。捕虜たちは、何を感ず、何を食べ、どう働いたのか？それぞれの体験を通してみえてくるものを考える。

敵国のために
働くとは？

5/24(土)

14:00~18:00

林田敏子(摂南大学)
小関 隆(京大人文研)

総力戦は同時に女性の社会進出もおしひろげた。戦えない性である女性は、愛国心をどう示したのか。カーキ・フィーバー、社会進出の象徴でもある制服への熱狂。大戦は女性をどう変えたのか、戦いのなかの女性を描き出す。

愛国熱と
制服フィーバーの時代

6/7(土)

14:00~18:00

野村真理(金沢大学)
伊藤順二(京大人文研)
吉岡 潤(津田塾大学)

言語や宗教の異なる諸民族が複雑に入り組む東中欧。いま国民国家を想像できない民衆の戦争経験とは。さらなる大戦後の帝国崩壊は、民族に何をもたらしたか。東中欧の「未完の戦争」の行方を追う。

忘れられた東部戦線

6/28(土)

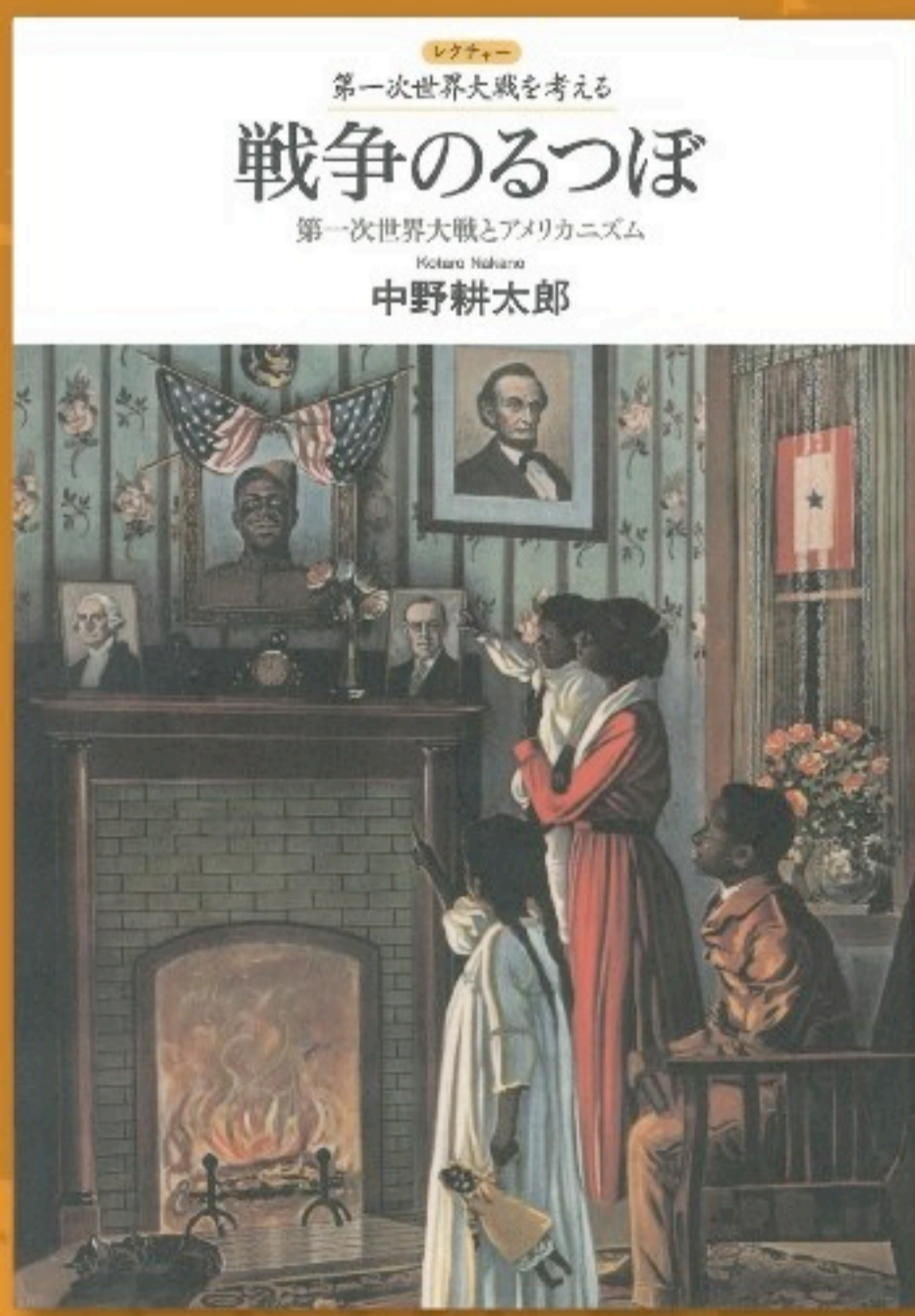
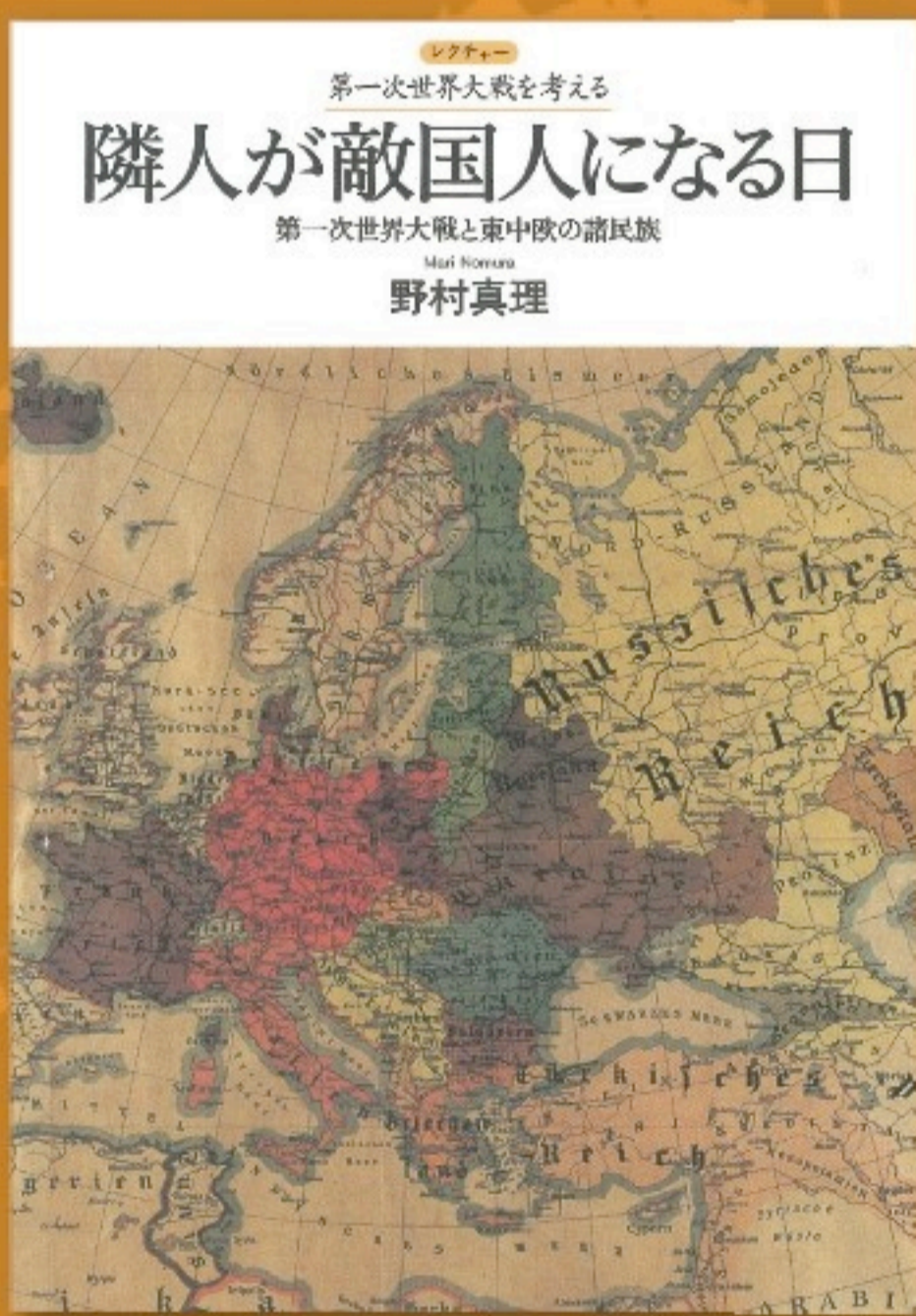
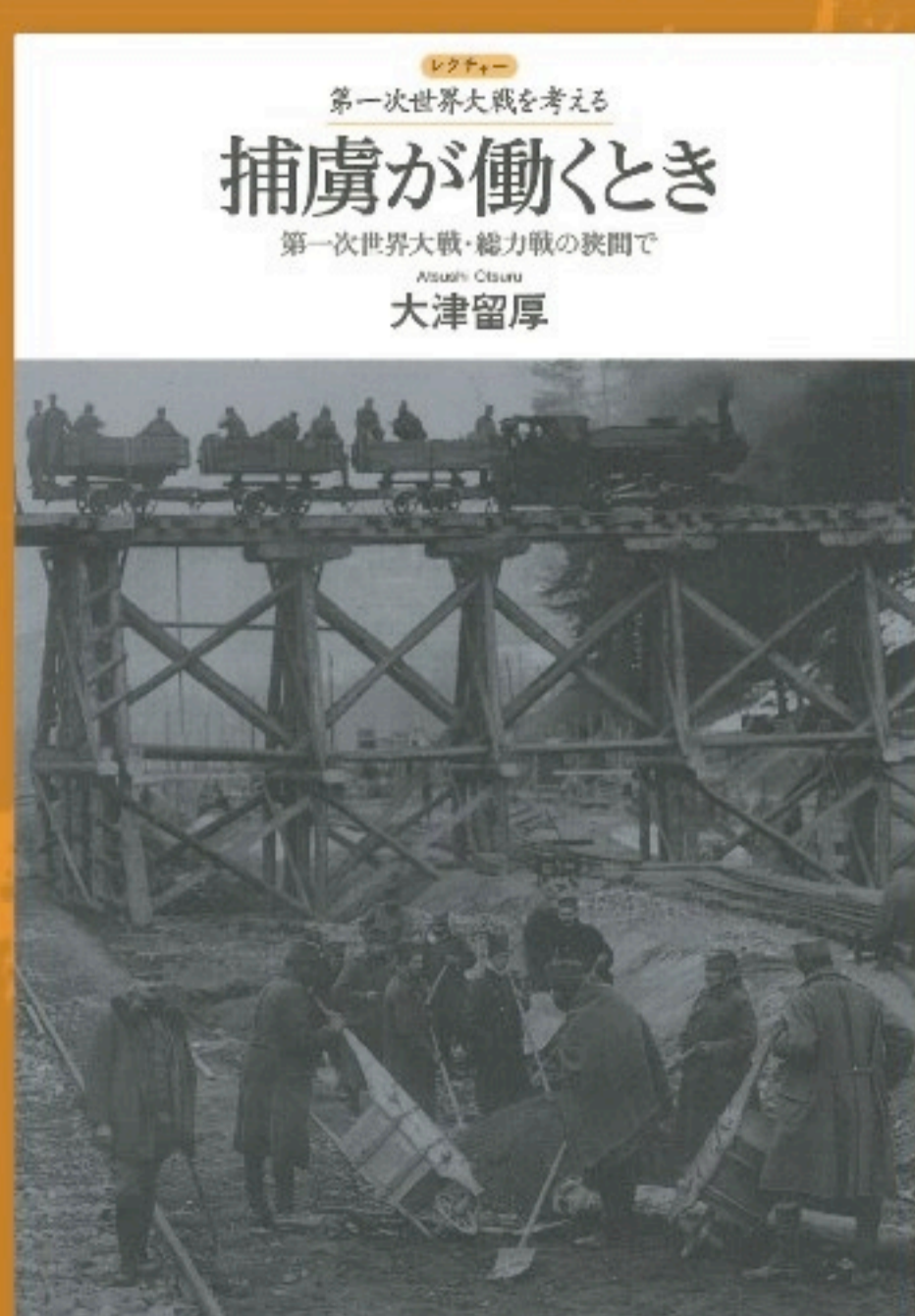
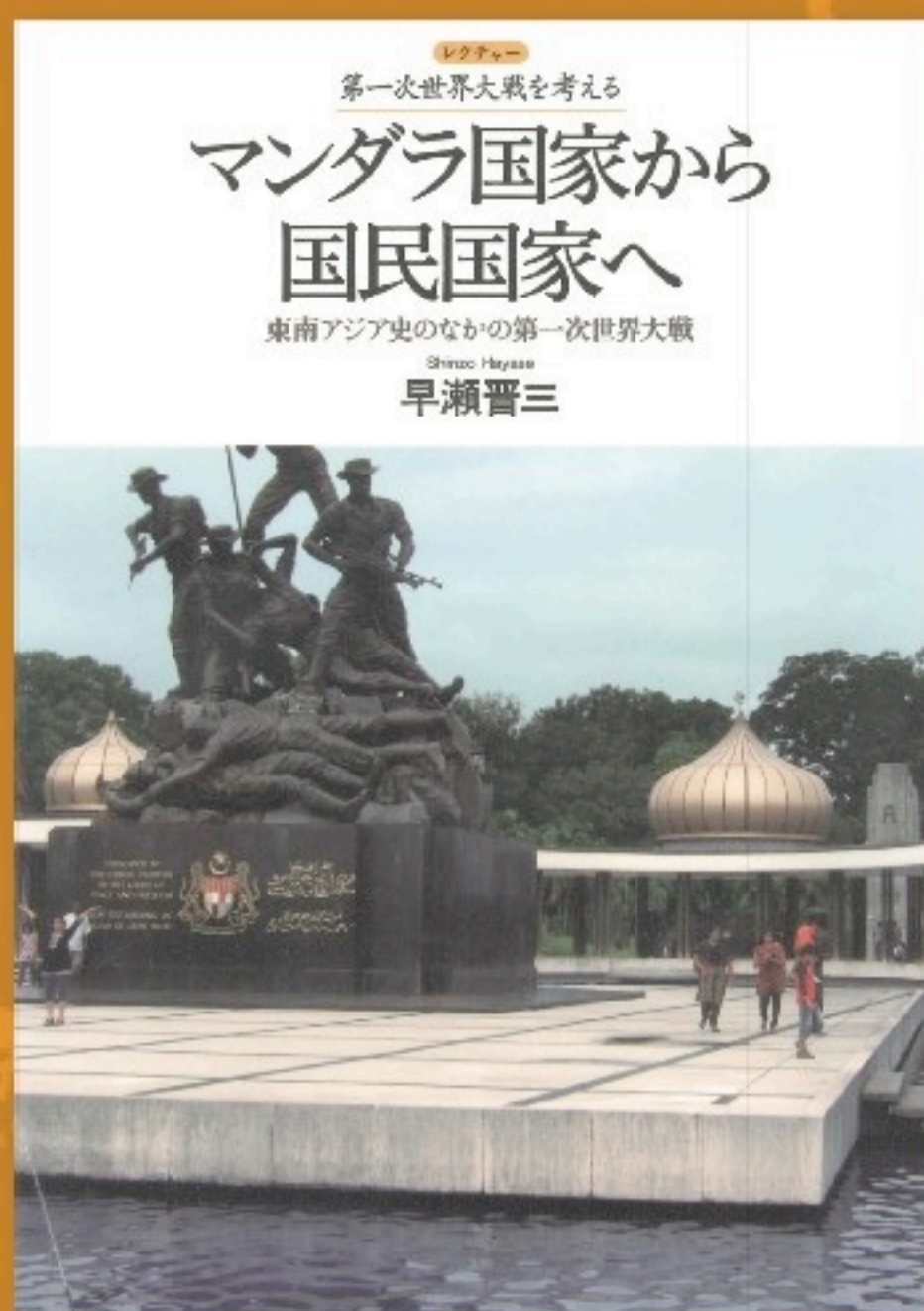
14:00~18:00

中野耕太郎(大阪大学)
王寺賢太(京大人文研)
横山 良(神戸大学名誉教授)

「民主主義の戦争」はアメリカと世界をどう変えたのか。戦時下における、人種・エスニック問題の変容はか戦争と国民形成にむつわる問題群を明らかにし、現在に続くアメリカの「正義の戦争」の論理と実像に迫る。

理念の戦争の却火が鑄出した
「アメリカ」とは何か？

2010年に始まった人文書院のシリーズ「レクチャー 第一次世界大戦を考える」は、すでに11冊が刊行されました。2011年に最初の6冊の連続合評会を開催しましたが、非常に大きな反響を得ましたので、残りの5冊の連続合評会も開くことになりました。大戦100周年のメモリアル・イヤーの今年、現代の起点としての第一次世界大戦をさまざまな角度から考えてみたいと思います。



■場所

京大人文研本館・セミナー室1

■主催

京都大学人文科学研究所
〒606-8501 京都市左京区吉田本町

■お問い合わせ

京都大学人文科学研究所 総務掛

Tel 075-753-6902

ホームページ <http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>

メールアドレス z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp

■無料・予約不要



○京阪電鉄「出町柳」下車徒歩15分
○市バス 3・31・65・201・206系統「百万遍」下車徒歩4分
○市バス 17・203系統「京大農学部前」下車徒歩1分
いずれも北門入りすぐ右